



つながり つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和6年8月23日

第42号

江別市教育委員会

総務課・学校教育課

素敵な歌声に感動！中学校生活が楽しみに！ ～第二中学校区 第2回中学校登校の取組～

7月17日（水）に第二中学校区の2回目の中学校体験が行われました。今回は、1校時が小学校の担任の先生による授業、2校時が体育館で中学校1年生と合同の音楽科の授業、3校時がグラウンドで中学校3年生と合同の体育科の授業が行われました。

5月に行った1回目の中学校登校よりも中学校での在校時間を長くして、体験授業を増やし、より充実した取組となるように工夫していました。

音楽科の授業では、中学1年生から校歌を教えてもらいました。中学1年生も、昨年度、入学前に校歌を覚えてもらったので、今回はその時の経験を生かし、後輩たちに上手に教えていました。中学3年生との合同体育科の授業では、陸上記録会で行っている大縄跳びを行いました。一緒に体を動かしていく中で、子どもたち同士の心の交流が図られ、中学生のリーダーシップも発揮されました。その後、6年生の子どもたちは、4校時に小学校へもどって振り返りを行いました。アンケートには下記のような感想等が出てきています。中学校登校の目的が十分に達成されていることがわかります。



中1が校歌を教えてくださいました



中3と一緒に大縄跳びをしました

【6年生の子どもたちの声】

- 中学1年生の歌声に感動しました。なので、真似をしたいです。
- 中学校の校歌をパート練習して、できるだけ大きく声を出すように意識しました。中学生のみんなは、すごく迫力のある歌だったので、すごいなと思いました。体育では、大縄跳びを中学生と一緒に挑戦しました。合わせるのは、少し大変だったけど、団結して取り組めたので良かったです。
- 校歌を優しく教えてくれる1年生や大縄をどうしたらたくさん跳べるか考えていた中学3年生がすごくかっこよかったです。
- 中学1年生が歌を教えてくれたり、中学3年生が体育の縄跳びで「こうやったら、良いよ!」とか教えてくれたりしたので、中学校の生活がより楽しみになりました。
- 中学1年生の挨拶の「キレ」や校歌の教え方の上手さ、歌っているときのかっこよさに驚きました。大縄跳びをやってみて、思ったより難しくて私にはあまり向いていなかったけど、中学3年生の先輩方と協力してできてとても楽しかったです。陸上大会はどういう感じにやるかとか、合唱コンクールや二中祭も想像したらすごく楽しそうに中学生になるのが今までよりもっと待ち遠しくなりました。
- 授業の始まりに、「やすめ」などの言葉があり、かっこいいなと思いました。中学生の人たちの授業に向かう姿がいいなと思いました。
- 実際に中学校の先生と授業をして、楽しかったです。また、中学生のお手本をみたり、聞いたりして、「中学生ってすごいな」と感じました。次の中学校体験も楽しみにしています。

中学生が小学生に優しく教えてあげました！ ～大麻中学校区特別支援学級の中学校登校の取組～

大麻小、大麻西小、文京台小の特別支援学級の児童7名が大麻中を訪れ、中学生と一緒に体験学習を行いました。学習内容は「紙すき」で、まず初めに、中学生が「紙すきの工程」についてパソコンを使ってわかりやすく説明してくれました。また、実際の作業では、中学生が手本を示しながら教えてくれたので、小学生もスムーズに進めることができました。「アイロンがけ」についても中学生が事前にパソコンを使って説明して、グループ内で教えてくれたので、やり方がわかりやすかったようです。

大麻中学校区では、過日、6年生全員対象の中学校登校の取組が行われましたが、特別支援学級ではさらに小中の合同学習という形でも中学校登校を行っています。今回の取組は、入学前から中学校の雰囲気や先生方に慣れる機会となり、子どもたちにとって、より「中1ギャップの緩和」が図られることとなります。

小中一貫教育の推進は、9年間を通した指導・支援の系統性や連続性がより意識され、円滑な小中の接続を可能とし、子どもたちの精神的・身体的な負担の軽減が図られていくことが期待されます。大麻中学校区では、今後も「合同ふれあいレク」等の取組を通じて特別支援学級同士の交流活動、小中一貫教育の取組等が推進されていく予定です。



「紙すき」を一緒に体験しました



中学生が優しく教えてくれました

小中一貫教育と地域とともにある学校づくり ～地域に貢献 江陽中学校区 クリーン作戦～

7月18日（木）に江陽中学校区の「クリーン作戦」の取組が行われました。小中一貫教育の開始に合わせて、小中合同で行うことになった地域貢献の取組で、今年度で3年目を迎えました。江別太地区では、江別太小と江陽中の児童生徒が地域のごみ拾いを行い、豊幌地区では、豊幌小と江陽中の児童生徒が地域の福祉施設「恵明園」でのボランティア活動を行うものです。残念ながら、当日は30度を超える気温のため、江別太地区のごみ拾い活動は中学生だけの実施となりましたが、豊幌地区の「恵明園」では、室内の窓や机・椅子の拭き掃除、入所者の方との交流等の取組を行いました。その中で、入所者のおじいちゃんやおばあちゃんからは、子どもたちにたくさんのねぎらいの言葉がかけられました。

また、閉会式では、子どもたちから「みんなで協力して館内をきれいにすることができたのでよかったです。今回のボランティア活動はたいへん貴重な体験となりました。」「一番印象に残ったことは、江陽中の皆さんがとても親切に優しく声をかけてくれたことです。リーダーシップもあり、さすがだなと思いました。来年は中学生になるので、とても参考になりました。恵明園のおじいちゃん、おばあちゃんが喜んでくれたのを見て、やってよかったなあと感じました。」との感想が発表されました。

最後に恵明園の方から「中学生が小学生に優しく声をかけながら作業を進めていたのが立派でした。おじいちゃんやおばあちゃんと上手にコミュニケーションをとっていたのも素晴らしいかったです。」とお褒めの言葉いただきました。

小中一貫教育としての目的と「地域とともにある学校づくり」としての目的の両方を達成した取組となりました。



お年寄りとの交流



みんなで窓ふき



江別太地区のごみ拾い活動